

重点事業①

『子育てするなら燕市で』と評価される施策

新 屋内こども遊戯施設「ハレラテつばめ」のオープン 【予算額】6,558万円

総事業費約24億円をかけて建設を進めている屋内こども遊戯施設が、令和7年8月ごろにオープンします。本市の新たなシンボルとなるこの施設では、季節や天候に関わらず、子どもたちが身体を使って思いっきり遊ぶことができます。3つに分けられたエリアには、子どもの成長に応じて楽しめる遊具を設置します。

- ◆利用対象者：小学生以下の子どもとその保護者 など
- ◆利用料金：市民は無料で利用できます。(市外在住者は子ども400円、大人など300円)

拡 こどもに寄り添う教育体制の強化・充実 【予算額】2億7,491万円

学校生活などに困難を抱える児童生徒を支援する環境を強化・充実します。

校内・校外教育支援センター

登校に困難を抱える児童生徒を支援する教育支援センターを新たに小学校に設置します。

これまで 全中学校、校外3カ所

- ▶ 全中学校、校外3カ所、小学校11校程度

特別支援教育環境整備事業（発達障がい通級指導教室）

小中学校でニーズが高まっている発達障がい通級指導教室を増設します。

これまで 3校 ▶ 7校

小学校：(これまで) 小中川小、吉田南小
(令和7年度から) 小中川小、燕西小、吉田南小、吉田小、分水小

中学校：(これまで) 吉田中
(令和7年度から) 燕中、吉田中

学びをサポートする職員の増員

児童生徒の学校生活全般を支援する学校介助員を増員します。

これまで 78人 ▶ 85人

新 5歳児健康診査 【予算額】444万円

子どもの個々の発達の特徴を早期に把握し、必要な支援につなげるため、医療機関と連携した専門のチームが全ての園へ訪問して行う「園巡回方式」で、県内他自治体に先駆けて、5歳児の健康診査を開始します。

新 こどもの生活・学習支援事業 【予算額】642万円

ひとり親家庭や貧困家庭などの子どもが抱える課題に対応するため、支援が必要な子どもの生活や学習環境の整備に新たに取り組めます。

学習支援業務委託事業

こども食堂などにおいて、学習支援を実施する際に必要なスタッフの報酬や運営に係る費用などを支援します。

模擬試験受験料補助金

支援が必要な子どもが高校受験に向けた模擬試験を受験する際の費用を補助します。

対象：児童扶養手当受給世帯などの中学3年生
補助額：1回上限6,000円(年2回まで)

新 私立保育園・こども園魅力向上事業 【予算額】106万円

保育環境の充実を図るため、公立保育園や子育て支援センターなどで導入を進めている知育玩具や絵本について、私立保育園などが導入する際の購入費を補助します。



拡 赤ちゃん紙おむつ購入費助成事業 【予算額】966万円

紙おむつの購入費の助成対象年齢を引き上げます。

これまで 0歳児1万円/年

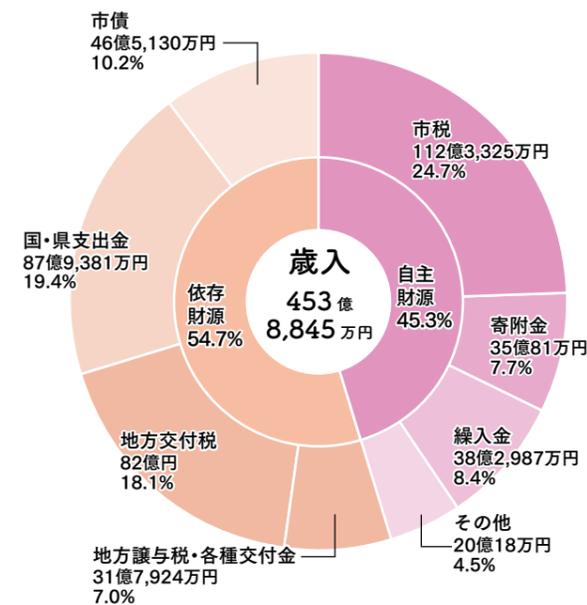
- ▶ 0歳児1万円/年および1歳児1万円/年

燕市の 一般会計当初 予算

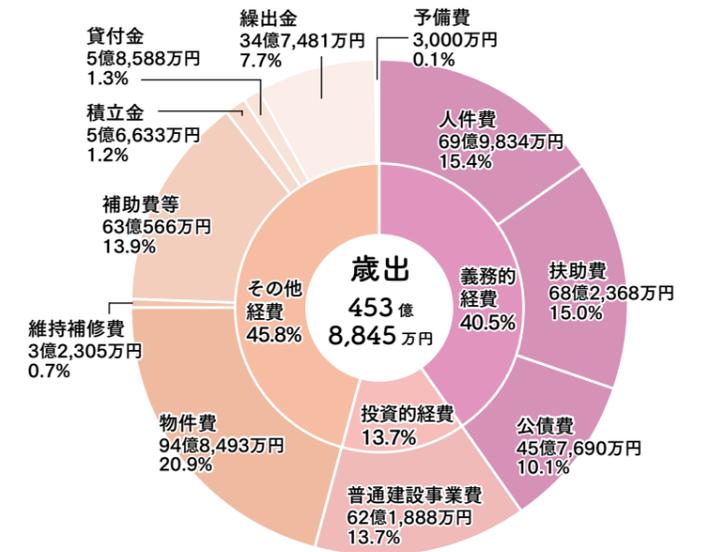
総額 492億6,300万円
実質的な
予算規模 453億8,845万円

一般会計当初予算の総額は、長引く物価高騰や人件費上昇の影響のほか、分水公民館改修やB&G海洋センターの移転改築などの建設事業を含め、3つの人口戦略を柱に据えた各種施策に積極的に取り組むこととしたため、前年度比12億3,800万円増の492億6,300万円となりました。なお、市債の借換分を除いた実質的な予算規模は453億8,845万円、令和6年度の国補正予算を活用した繰越事業を合わせた執行ベースの予算規模は、485億1,590万円となっています。

歳入の状況



実質的な予算規模



用語説明

- 自主財源 … 市が自主的に収入できる財源
- 依存財源 … 国または県などから収入される財源
- 義務的経費 … 支出することが義務付けられている経費
- 投資的経費 … 道路や施設などの整備に要する経費
- 借換分 … すでに発行した市債を借り換えるもので、借入額と返済額を歳入歳出同額で予算計上

一般会計当初予算

区分	番号	予算額	前年度比
一般会計	①	492億6,300万円	2.6%
①のうち借換分	②	38億7,455万円	▲33.2%
実質的な予算規模	①-②	453億8,845万円	7.5%
繰越事業	③	31億2,745万円	218.1%
執行ベースの予算規模	①-②+③	485億1,590万円	12.3%

端数調整のため合計額と一致しない場合があります。

執行ベースでの予算規模の推移

